



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日立造船株式会社

コード番号 7004 URL <http://www.hitachizosen.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長兼COO

(氏名) 谷所 敬

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 中村敏規

TEL 06-6569-0022

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	158,141	11.6	△447	—	△1,260	—	△3,952	—
27年3月期第2四半期	141,735	10.6	△3,529	—	△4,949	—	△2,906	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △2,595百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △2,499百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△23.67	—
27年3月期第2四半期	△17.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	384,385	112,917	27.0
27年3月期	408,803	117,530	26.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 103,905百万円 27年3月期 108,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	8.5	14,500	13.1	11,000	45.3	5,500	7.8	32.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	167,843,845 株	27年3月期	167,843,845 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	833,638 株	27年3月期	829,840 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	167,011,744 株	27年3月期2Q	167,155,862 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成27年11月2日に証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定であり、この説明会での配布資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	
(1) 平成28年3月期第2四半期 連結業績補足資料	9
(2) 平成28年3月期 連結業績見通し補足資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済情勢は、海外では、景気が緩やかに回復しているものの、欧州政府債務危機問題、米国における金融緩和の縮小、中国その他新興国における景気の下振れや地政学的リスク等が懸念されています。国内でも、政府・日本銀行による経済政策・金融政策の効果が实体经济に波及しており、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しが見られる中で、景気は緩やかな回復基調にあります。

こうした中で、当社グループでは、平成26年度から3か年の中期経営計画「Hitz Vision II」をスタートさせております。本計画では、製品の基盤技術に加え、製品・サービスを提供するための業務プロセスも含めた独自の技術力を磨き、顧客満足の実現と高い付加価値の実現により、持続的な成長を目指すという「技術立社」の考え方を取り入れ、社会的要請が高まっている「環境・グリーンエネルギー」及び「社会インフラ整備と防災」という事業領域において、着実な成果を上げるための最適な事業戦略の構築と経営資源の集中を進めております。また、収益力・成長力を強化する事業のイノベーション、経営基盤・財務体質を強化する経営管理のイノベーションのそれぞれの観点から、種々の重点施策に鋭意取り組んでいます。

以上のような取り組みを進める中で、当期の受注高は、環境・プラント部門において減少したこと等により、前年同四半期を下回る198,892百万円となりました。また、売上高については、環境・プラント部門における過年度に受注した大口案件が順調に進捗しており、前年同四半期を上回る158,141百万円となりました。

損益面では、営業損益及び経常損益は、環境・プラント部門における売上高の増加等により、それぞれ前年同四半期から改善し、447百万円及び1,260百万円の損失計上となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純損益については、当第2四半期連結累計期間に債務保証損失引当金繰入額を特別損失に計上したこと等により、前年同四半期から悪化し、3,952百万円の損失計上となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しております。これに伴い、前年同四半期の数値につきましても、変更後の区分に組み替えて記載しております。

①環境・プラント

ごみ焼却発電施設建設工事及び海外向け大型プラント建設工事等が順調に進捗しており、売上高は前年同四半期を上回る95,385百万円、営業損益は前年同四半期の損失計上から転じて、1,560百万円の利益計上となりました。

②機械

売上高は船用原動機の場合増加により前年同四半期を上回る47,609百万円となりましたが、営業損失は前年同四半期から悪化し、1,369百万円となりました。

③インフラ

大口工事の進捗に伴い、売上高は前年同四半期を上回る10,402百万円、営業損失は売上高の増加に加え構造改革の進捗等により前年同四半期から改善し、886百万円となりました。

④その他

売上高は前年同四半期を上回る4,743百万円となりましたが、営業利益は前年同四半期から横ばいの247百万円となりました。

当社グループの事業の性質上、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きく、売上高が連結会計年度末に集中することから、業績は季節的変動が大きくなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の回収等により、前連結会計年度末に比べて24,418百万円減少し、384,385百万円となりました。負債の部は、仕入債務の支払い及び有利子負債の返済等により、前連結会計年度末に比べて19,804百万円減少し、271,468百万円となりました。純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末に比べて4,613百万円減少し、112,917百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、環境・プラント部門における大口案件の順調な進捗を織込み、前回(平成27年5月11日)公表の予想数値である370,000百万円から20,000百万円増加の390,000百万円となる見通しです。

この売上高増加の見込みに伴い、営業利益は前回公表の予想数値である13,500百万円から1,000百万円増加の14,500百万円、経常利益も同様に10,000百万円から1,000百万円増加の11,000百万円となる見通しです。一方、特別損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回公表の予想数値から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当該変更が当第2四半期連結累計期間の損益及び当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,384	64,983
受取手形及び売掛金	136,520	94,649
有価証券	1	10
商品及び製品	1,289	1,891
仕掛品	19,929	33,406
原材料及び貯蔵品	4,899	4,927
その他	16,082	18,053
貸倒引当金	△1,718	△1,875
流動資産合計	239,388	216,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,397	31,467
土地	66,504	66,504
その他(純額)	26,434	26,932
有形固定資産合計	125,337	124,903
無形固定資産		
のれん	5,701	5,325
その他	4,895	4,652
無形固定資産合計	10,596	9,978
投資その他の資産		
その他	34,448	34,461
貸倒引当金	△1,014	△1,033
投資その他の資産合計	33,433	33,427
固定資産合計	169,367	168,309
繰延資産	46	31
資産合計	408,803	384,385

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,767	38,923
電子記録債務	17,101	13,010
短期借入金	28,984	17,979
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払費用	57,783	45,163
未払法人税等	1,660	1,719
前受金	14,926	30,536
役員賞与引当金	13	6
保証工事引当金	4,328	5,121
工事損失引当金	5,569	5,671
債務保証損失引当金	—	1,405
その他	10,324	8,990
流動負債合計	192,460	168,527
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	69,242	73,115
退職給付に係る負債	15,490	15,755
役員退職慰労引当金	384	350
資産除去債務	917	922
その他	2,776	2,796
固定負債合計	98,811	102,940
負債合計	291,272	271,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,442	45,442
資本剰余金	9,575	9,574
利益剰余金	53,088	47,465
自己株式	△410	△413
株主資本合計	107,696	102,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	852	938
繰延ヘッジ損益	△844	△554
土地再評価差額金	△4	△4
為替換算調整勘定	4,266	4,099
退職給付に係る調整累計額	△3,200	△2,642
その他の包括利益累計額合計	1,069	1,836
非支配株主持分	8,764	9,011
純資産合計	117,530	112,917
負債純資産合計	408,803	384,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	141,735	158,141
売上原価	125,335	134,918
売上総利益	16,399	23,223
販売費及び一般管理費	19,929	23,671
営業損失(△)	△3,529	△447
営業外収益		
受取利息	44	42
受取配当金	236	268
持分法による投資利益	86	—
その他	321	352
営業外収益合計	688	662
営業外費用		
支払利息	517	531
持分法による投資損失	—	302
その他	1,590	640
営業外費用合計	2,108	1,475
経常損失(△)	△4,949	△1,260
特別利益		
負ののれん発生益	3,146	—
特別利益合計	3,146	—
特別損失		
債務保証損失引当金繰入額	—	1,405
特別損失合計	—	1,405
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,802	△2,666
法人税等	595	728
四半期純損失(△)	△2,398	△3,394
非支配株主に帰属する四半期純利益	508	558
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,906	△3,952

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,398	△3,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	111
繰延ヘッジ損益	43	312
為替換算調整勘定	△441	△162
退職給付に係る調整額	237	573
持分法適用会社に対する持分相当額	△95	△36
その他の包括利益合計	△100	799
四半期包括利益	△2,499	△2,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,007	△3,186
非支配株主に係る四半期包括利益	508	591

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1)平成28年3月期 第2四半期 連結業績補足資料

①連結損益計算書

(単位:億円)

		26年度第2四半期 累計期間		27年度第2四半期 累計期間		比較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
営業利益・ 売上高	環境・プラント	839	△ 12	954	16	115	28
	機 械	457	△ 8	476	△ 13	19	△ 5
	イ ン フ ラ	76	△ 18	104	△ 9	28	9
	そ の 他	45	3	47	2	2	△ 1
	合 計	1,417	△ 35	1,581	△ 4	164	31
営業外損益	金 利 負 担 額		△ 2		△ 2		0
	持分法による投資損益		1		△ 3		△ 4
	そ の 他		△ 13		△ 3		10
	計		△ 14		△ 8		6
経 常 利 益		△ 49		△ 12		37	
特 別 損 益		31		△ 14		△ 45	
税金費用・非支配株主帰属利益		△ 11		△ 13		△ 2	
親会社株主に帰属する 四半期純利益		△ 29		△ 39		△ 10	

※営業利益の「その他」には消去を含んでおります。

②連結受注高

(単位:億円)

事業セグメント	26年度第2四半期 累計期間	27年度第2四半期 累計期間	比較
環境・プラント	2,071	1,355	△ 716
機 械	509	453	△ 56
イ ン フ ラ	59	133	74
そ の 他	44	47	3
合 計	2,683	1,988	△ 695

③連結受注残高

(単位:億円)

事業セグメント	平成27年3月末	平成27年9月末	比較
環境・プラント	4,427	4,828	401
機 械	895	872	△ 23
イ ン フ ラ	275	305	30
そ の 他	2	2	0
合 計	5,599	6,007	408

(注) 第1四半期よりセグメント区分を変更したことに伴い、併記しております26年度第2四半期の連結損益計算書及び連結受注高ならびに平成27年3月末の連結受注残高についても、変更後の区分に組み替えております。

④連結貸借対照表

(単位:億円)

科 目	平成27年3月末	平成27年9月末	比較
現金及び預金	624	650	26
受取手形及び売掛金	1,365	946	△ 419
棚卸資産	261	402	141
有形・無形固定資産	1,359	1,349	△ 10
その他	479	496	17
資産の部合計	4,088	3,843	△ 245
支払手形及び買掛金	589	519	△ 70
有利子負債	1,190	1,020	△ 170
その他	1,134	1,175	41
負債の部合計	2,913	2,714	△ 199
株主資本	1,077	1,021	△ 56
その他の包括利益累計額	11	18	7
非支配株主持分	87	90	3
純資産の部合計	1,175	1,129	△ 46
負債・純資産の部合計	4,088	3,843	△ 245

⑤連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科 目	26年度第2四半期 累計期間	27年度第2四半期 累計期間	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	164	257	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 77	△ 40	37
財務活動によるキャッシュ・フロー	20	△ 192	△ 212
為替換算差額	2	△ 0	△ 2
現金及び現金同等物の増加減少額	109	25	△ 84
現金及び現金同等物の期首残高	499	607	108
現金及び現金同等物の期末残高	608	632	24

(2)平成28年3月期 連結業績見通し補足資料

①連結損益計算書

(単位:億円)

		27年度見通し (H27.5.11公表)		27年度見通し (H27.10.30公表)		比較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高・ 営業利益	環境・プラント	2,250	120	2,450	130	200	10
	機 械	1,100	10	1,100	10	0	0
	イ ン フ ラ	260	0	260	0	0	0
	そ の 他	90	5	90	5	0	0
	合 計	3,700	135	3,900	145	200	10
経 常 利 益		100		110		10	
親会社株主に帰属する 当期純利益		55		55		0	

※営業損益の「その他」には消去を含んでおります。

②連結受注高

(単位:億円)

事業セグメント	27年度見通し (H27.5.11公表)	27年度見通し (H27.10.30公表)	比較
環境・プラント	3,000	3,000	0
機 械	1,100	1,100	0
イ ン フ ラ	310	310	0
そ の 他	90	90	0
合 計	4,500	4,500	0